

ハックルベリー

NPO法人 北摂こども文化協会

URL <http://www.wombat.zaq.ne.jp/auajw302/hcca/>

池田事務所 〒563-0058
池田市栄本町6-6
tel: 072-752-9910
fax: 072-752-8185
hcca@wombat.zaq.ne.jp
豊能事務所 〒563-0102
豊能町ときわ台3-4-6
tel: 072-738-3435
fax: 072-738-3272

発行責任者: 阿世知英世



ザ・チャレンジ!

さて、あなたは?



「スモーキーマウンテン

子ども民族舞踊団」

～母なる大地の子ども達～ 池田公演

子どもの遊び舎「にこにこや」

水月児童文化センター

はなしょうぶまつり

雨のひと山まるごとプレイパーク



北摂太鼓集団フェスティバル

もくじ



●特集記事「消えた行事・学校完全週五日制がもたらしたもの」

..... P.2・3

→子どもを取り巻く社会状況と当協会のミッションを照らし合わせた読みきり記事です。

●今年の基本方針は「ナンバー1よりオンリー1」2003年度事業計画

..... P.4・5

→2003年度がスタートしてもう折り返し。さまざまな事業をご紹介します。

●スタッフおすすめの子どもの本

..... P.6

→夏休み。活字離れた子どもたちにスタッフが印象に残っている本をオススメします。

●ザ・インタビュー第1回～特定非営利活動法人三島子ども文化ステーション～

..... P.7

→当協会に関連のある他団体から企業まで、いろんな分野の人たちを直撃します。

●掲示板(8月～12月)

..... P.8

→北摂こども文化協会の今後の予定をラインアップ。掲載しきれないものはホームページをご覧下さい。

消えた行事

学校完全週五日制がもたらしたもの

専務理事 立石 美佐子

「ゆとりある教育環境」の整備の一つとして、平成十四年九月から完全学校週五日制が始まりました。

土曜日・日曜日が完全にお休みになって、子どもたちの環境はどのように変ってきたのでしょうか。

中教審は、「生きる力」を育むには、子どもたちに「ゆとり」を持たせることが重要である。備しを感じない「ゆとり」の中でこそ、子どもたちは自分たちをみつめ、自分で考え、さまざまな体験を豊かに蓄積して「生きる力」を身につけていくことが可能となる。したがって「ゆとり」ある教育環境の中で、「ゆとり」ある教育活動を展開する必要がある。」と強調しています。

学校では

さて、学校における子どもたちは、学校完全週五日制の導入で授業日数が減った分だけ、一日の時間割が窮屈になり、忙しくなったと言われています。

新聞では、学校完全週五日制で授業が減ったことへの対策として、三学期制以外の学期制を

とっている公立小学校が全国で二%を越えたと報じられていました。

授業の容量が変わっていないのですから、何かを工夫しなければ週五日の受け皿に入りきらないのは至極当然のことでしょう。

また、親に聞いた調査では、次のような回答でした。

- ・子どもがゆとりをもって生活している10%
 - ・子どもが時間に追われて生活している72%
- 子どもたちに与えたいと願った「ゆとり」のはずが、子どもたちから「ゆとり」を奪ってしまっているのではないのでしょうか。

学校行事を削るなどしている学校が九割にもなっていることも報じられていました。

日本には子どもを対象にした劇団組織、日本児童演劇協議会というのがあります。私の友人が代表をしています。他にもこの団体に加盟している友人もいますが、彼女たちは一様に「学校公演の激減」を嘆いています。

単に、収入減を嘆いているのではありません。経営が苦しいのは当然ですが、それ以上に子どもたちが、「感動する心」を体験する機会が減少することを心から悲しんでいるのです。

四年前、私はルーマニアに一週間滞在しました。ルーマニアは貧しい国でした。でも、子どもたちは毎週末、みんなで劇場にいくのが日常でした。

そのような文化が日常ではない日本において、学校という場所でクラスメイトと同じ空間で、「生の舞台」を共有する体験は大変貴重なものだと思っているので、鑑賞事業が削られるのはとても残念です。

現役の小学校教育論の友人に尋ねました。「何かを省いていかなければならない現実はあるけれど、子どもたちや保護者が楽しみにしている学習発表会や図工展、そして運動会など、どうしても削れない行事は守っていきたい。」これは教師全員の想いだとも付け加えて。

確かに「本当の学力」が本当に理解されていない現状、学力≠大学進学と思っている社会が変らない限り、「ゆとりのある居場所と自由な活動の時間」を生み出すのはとても難しいことでしょう。

地域では

神戸、京都、沖縄、長崎で頻発した少年犯罪は、その動機の不可解さや手口の残酷性に目を覆うものがありますが、ものの善悪や人格、価値観の育成は家庭が基本であることを深く認識させられます。

学校が担うこと、家庭・地域が担うこと、その三者が協働することを語り合い、すみわけの知恵が必要と考えられます。

学校に舞台芸術の鑑賞事業をする時間が無いのなら、「ゆとり」の時間である土曜日に、地域の人々の活動で鑑賞事業をすればいいでしょう。

元来日本は、学校に依存し過ぎてきた傾向があります。これは今問題になっている、子どもたちの集団依存思考に通ずる問題とも思われます。

今こそ、学校依存型から家庭自立型に成長する時だと考えてはどうでしょうか。

子どもをどう育てたいのか、その為には何を選ぶのか、「生きる力」とは自ら選別し自ら行動すること。その結果、失敗だったり成功だったりすることで体験力がつき、「生きる力」が蓄積していくのです。

ルーマニアの体験を前述しましたが、毎週末劇場へ通う子どもたちの心の中に育まれる「良い気持ち」を大切にすることを文化を持ちたいものだと願います。

「良い気持ち」「ゆとり」は目に見えません。成績は目に見えます。目に見えるものにお金は出せても見えないものには出しづらいものです。

今地域には、様々な市民団体が活動していま

す。当協会の活動を含め、それらは学校行事の様に無料という訳にはいきません。事業の企画・運営には多くの経費が掛かります。皆さんはそれらを自由に選択し、サービスを受けるのですから、その点は理解して下さい。

しかしこういった活動の必要性を識別する力を持たなければ、子どもは「ゆとり」を享受することができないのではないのでしょうか。

親や大人は、学校のクラブ活動だけでなく地域クラブにも目を向けてみるような、幅広い視野の情報を提供し、尚且つ一緒に考える時間の共有が望まれます。

そういう時間が、週休二日の中に自然にとけこめていけたら、学校完全週五日制の意義は大いに生かされることでしょう。

これから

学校完全週五日制の実施で、家庭や子どもたち自身が取り戻した「全く自由な時間」である土曜日・日曜日をどう過ごすのか。

中教審「二十一世紀を展望した我が国の教育のあり方について」では次のように提言されました。

家庭や地域における豊富な生活体験や社会

体験、自然体験は重要であり、家庭や地域社会

での生活時間を増やし、子どもたちが主体的に

使える自分の時間を増やして「ゆとり」を確保

することは、今日子どもたちにとって極めて

重要なこと。

そして学校完全週五日制は、このような子どもたちの生活のあり方や学習の環境を変え今後の教育のあるべき姿を実現する有効な方途です。

学校から様々な行事が消えていったけれど、消えた行事を地域の方でより個性的な色合いを盛り込んで再生していけるのです。

学校完全週五日制の今後の展望は、私たち市民の手にゆだねられたのです。サイは投げられた！のです。どう転がしましょうか？

行政の下請けでは決してありません。主体者としての市民として、自らの主体性と創造性を大いに活用し、理念を共有する仲間との協働により、真の「ゆとり教育の環境整備」を実現することができるとは思います。

今回の特集「学校完全週五日制がもたらしたもの」をきっかけに、学校完全週五日制の主旨・学校五日制導入の経緯・実施の状況などについて、夫婦や親子で、そして友人たちとも大いに語り合っていたら幸いです。(資料あります。お問い合わせ下さい。)



「2003年度基本方針」

■ミッション■

今年度、北摂こども文化協会は、「ナンバー1よりオンリー1」を基本方針に掲げます。現代社会において「横並びでない生き方」は難しいかもしれないけれど、他者と比べて競うより、認め合い響きあって「オンリー1」の自分を大切にしたいと思うのです。そして「オンリー1」の他者をも大切にしたい事業を計画しました。

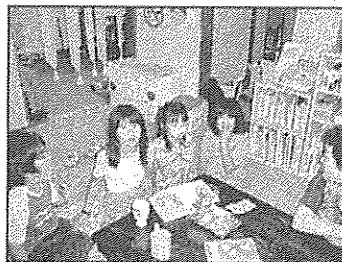
2003年度事業計画

各事業での方針は今まで通り、「自分で考え、自分で決定し、自分で行動する」を掲げました。強い生命力と、自分にも他者にもやさしくなれる豊かな心を育む5つのステージ「出会い・気づき・つながり・行動・表現」の活動をめざします。

豊能地区では「子どもの遊び舎 にこにこや」が開店しました。子どもたちにとって大切なこの5つのステージを実現する「にこにこや」をめざします。

3年目を迎える「池田市立児童文化センター」ではプログラム提供型からプログラム参加型への発展をめざします。行政の下請け事業とならないよう、独自性と創造性を大いに発揮することでNPOの果たせる役割、新しい市民社会構築を提言できるNPOをめざします。

★こ・れ・か・ら・・・8月～12月の事業企画は、8ページをご覧ください★



子どもの遊び舎にこにこや



いけだ夢燈花



太鼓集団「童夢」

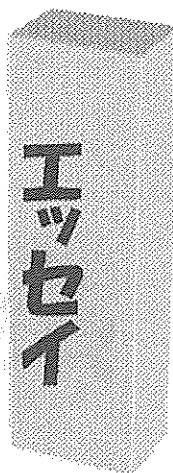
みなさん、出かけましょう。

デンマークの話をしつづけます。絶対に外国へは行かないと叫んでいたのに、突然行ってきました。11時間も飛行機に乗って、延々と時間をかけて。

デンマークの演劇フェスティバルは素晴らしいと聞かされていて、10年くらい前から、ちよつとしたブームになっていました。その頃、誘われても誘われても、鼻で笑って「外国なんか」とうそぶいていたのに、突然行く気になったのです。なんでもかなあ。

行って帰って来たとなん、会う人会う人に、「外国へ行け」と、手のひらを返したように薦めています。単細胞の単純人間です。

劇は劇で面白かったのですが、びっくりしたのは、ゲームセンターが繁華街になくて、児童館にありました。最新のゲームがそろっているということでした。もちろん人気があるので一人で30分と決められて、順番を待ってやっていましたが、無料です。



北摂こども文化協会

2003年度
事業案内

I. 文化事業：「子どもの権利条約」の主旨を普及するための講演会等

当協会のネットワークを活かして、状況に応じた企画を開催する。

II. こどももおとなも、一人ひとりの自己実現をめざす共育事業

- ・ 幼児教室：幼児期に大切な「遊びを通して親と子のスキンシップを深める事と同時に、お母さんお父さんのネットワークをつくります。
- ・ 太鼓教室：心と体に響く太鼓を通して心を開放し、異年齢集団による社会性を養い地域との振興をはかります。
- ・ 北摂高校生フェスティバル：「演じたい！」その心を受け止めます。
- ・ 子どもの遊び舎「にこにこや」：子どもたちの居場所づくり
- ・ ひと山まるごとプレイパーク：自然あふれる環境の中で、学校・家庭以外の「居場所」をつくり出します。
- ・ 劇団「ぼこあぼこ」：表現する楽しさを知って欲しいと企画。8月30日（土）に初公演。

III. 舞台芸術鑑賞事業

- ・ 子どもたちの心の成長に芸術鑑賞の大切さを実感し、企画します。

IV. 地域文化振興会

子どもが育つ環境に地域は大切！出来ることは何でもします！

V. 子ども文化に関する情報誌及び書籍の発行

- ・ 季刊誌「ハックルベリー」発行・月刊情報誌「にゅーす」発行・ブックレット「おかあさんといっしょ、おとうさんといっしょ」発行・「民間委託を受けちゃった！」発行

VI. その他目的を達成するために必要な事業

- ・ 池田市立水月児童文化センター管理運営：池田市のこどもの活動拠点として、こどもたちの自立を促す事業を実践します。
- ・ 国際交流&協力事業：地球市民感覚の視点を養うプログラムの実施
4月にはフィリピンマニラ市からスモーキーマウンテン子ども民族舞踊団を招聘、マニラの実情を知りました。10月にはルーマニアからお客様が来られます。あなたはルーマニアをどのくらい知っていますか。

ていきましたか。無料です。

その同じ児童館の中に、動物を飼育

する所もありました。ニワトリやうさ

ぎ、アヒル、羊といろいろいました。

動物を飼いたいと思うと、まず材木

をもらうそうです。「なんでやねん」と

思うでしょ。飼うための小屋を大人に

手伝ってもらってもいいから、まず自

分で作るんだそうです。それが出来た

ら動物をもらえる。でも3日ぐらいほ

つたらかしたしたら没収されるとか。

行けないときはちゃんと届けを出せば

係りの人が面倒みてくれるらしい。自

転車をこわしたり組み立てたりする部

屋もありましたよ。

教育で日本と一番違うのは評価しな

いということですよ。日本の子はみんな

リコーダー持たされて、一人一人吹か

されたりしているらしいけど、デンマ

ークは、そんな一人の能力のわかるこ

とは絶対しないそうです。

音楽はコーラスになるそうです。ど

うしたらみんなで美しい合唱ができる

かということらしい。

同じ地球の上でこんなに違う事がある。

わかっていたような気がしていた

けど、実際に触れると、すごいインパ

クトがありました。ということでも、み

なさん、出かけましょう」と叫んで

いる次第です。

人形劇団クラルテ 松本則子

スタッフおすすめの子ども向けの本

最近、子どもたちの活字離れが問題になっています。漫画本をはじめ、アニメなどの世界に慣れている世代にとって、活字から想像するということが難しくなっています。「漫画はスイスイ読めるのだけれど、本になると・・・。」と首をかしげるお母さんたちも少なくありません。国語力にもつながるからと我が子になるべく本を読ませる家庭。確かに、読書が好きな子どもは漢字もよく読めます。まだ学校で習っていない漢字も声を出してス〜つと読めることが増えます。逆に、本読みに慣れていない子どもは、短い文章でも詰まっしてしまい、何度か繰り返し返して読まないと言章を理解できない傾向にあります。

それではどんな本でも目を通して読めばいいのかわないと、そういうわけにもいきません。

実は私も活字が大嫌い。子どもの時母親は試行錯誤して、何とか私に読書のくせをつけさせようとあらゆる本を買い与えました。しかし、興味のない本はいっまでも本棚でキレイにディスプレイされたまま……。三行読むとめまいがし、ゲームばかりしていた子ども時代。そんな読書嫌いだった私ですが、今でも鮮明に記憶に残っている本があります。それはやはりわかりやすく、面白かったもので、自分からすすんで読めたからだと思えます。まずは難しい本より、わかりやすくワクワクするような本から入ってみてはどうでしょう。

ようか？あまりに夢中になりすぎて、学校に遅刻したり夜更かしをするのはよくありませんが、興味・関心・面白い！と思うことから本の世界に引き込まれると思います。

今、読書をすすんでしてこなかった私はつくづく後悔することもあります。そして、子どもの頃の習慣や、ちよつとした日々の努力が大人になってから実を結ぶのだと痛感しています。今回は夏休みということもあり、学校では読書感想文などの宿題が出てくる子どもたちも多いのでは？！

是非、スタッフのお薦め本、子どもの頃に読んだ本を覗いてみてはいかがでしょうか？

★スタッフおすすめの本★

(えびすや)

・こまったさんのサンドイッチ

(あかね書房・寺村輝夫・作)

・百万回生きたねこ

(講談社・佐野洋子・作&絵)

・ことわざのえほん

(鈴木出版・西本鶏介・文)

・吉四六さん

(あかね書房・寺村輝夫・作)

・きいろいばけつ

(あかね書房・もりやまみやこ・作)

・きょうはなんのひ

(福音館書店・瀬田貞二・作)



♪ちょっとブレイク♪

～御存知ですか？北摂こども文化協会のホームページ～

<http://www.wombat.zaq.ne.jp/auajw302/hcca/>

北摂こども文化協会では、オフィシャルサイトを設置しております。事業案内、ミッションのご紹介のほか、こどもの遊び舎「にこにこや」のページ、「ひと山まるごとプレイパーク」プレイリーダーのページもあります。また、池田市より管理運営業務を委託されている「池田市立水月児童文化センター」のホームページにもリンクしています。活動スケジュールや楽しかったイベントアルバムなど、盛りだくさんの内容で皆様の訪問をお待ちしております。是非、機械（機会）がありましたらお立ち寄り下さい。

第一回 特定非営利活動法人

三島子ども文化ステーション

(大阪府高槻市)

三島子ども文化ステーションは、「子どもの権利条約」三十一条に謳われている『休息・余暇・遊び、文化的・芸術的生活の実現』に向けて活動し地域の拠点としての役割を担っています。二十一世紀、こどもが保護の対象ではなく、「権利の主体者としての人格を持ち、新しい社会を大人と共に割ることのできる社会を」目指して活動しているNPO法人です。

★主に次のような活動を行っています★

- Ⅱ 幼児と親の遊びの広場 Ⅱ
 - * よちよちくらぶぴーかぶー
 - * CANちゃんくらぶ
 - * 子育てカフェ「どうぞのおいす」
- Ⅱ 青年・高校生企画 Ⅱ
 - * くうねるあそぶ学校
- Ⅱ 学習会やシンポジウム、講演会の開催 Ⅱ

今回はこれらの事業の中から、「くうねるあそぶ学校」について詳しく伺いました。

「活動を続けて三十年。二十八年間、年に一回キャンプを行い青年と子どもたちが生き生きと活動してきました。三年前の冬、ニッセイ財団から助成金を貰えることが決まり、現在の「くうねるあそぶ学校」が生まれました。

今まで夏のキャンプしか関わっていないかった青年たちも「そんな事業が始まるのなら・・・」と二十名近くの青年達が集まりました。とりあえず活動歴の長い人が校長や事務局になって、高校生リーダー達を引っ張っていくことになりました。

青年たちの会議は毎週水曜日。「自然にそのような話になったのですか？」と尋ねると、「今までは夏のキャンプしかしていなかったのに、急に毎月一回行事をしようとする、毎週会議をしないと行事ができないと私たちが判断し、決定しました。」とのこと。事業に向けての会議がいかに大切であるか自分たちで実感したとか。

ここでは、小学生から中学生までキャンプに参加でき、高校生になると自動的に青年リーダーになります。高校生になり残る人は、それなりに楽しさがわかってきて、

リーダーとしての意気込みがある証拠といえるでしょう。実際、夜七時に事務所に集まってきた高校生たちは本当に楽しそうに、生き生きとしていました。

また、校長や事務局など、この会のまとめ役を次の世代に引き継いでいくことも重要な課題の一つ。高校生リーダーは、幼い頃からキャンプに関わっていて楽しさを知っているし、キャンプでは会議や運営を子どもたちや高校生に任せっきりなので、参加するうちに自らが主体となり活動する力がついてきて、自然に世代交代ができるんだらうな、という印象を受けました。

最後に、「活動をつなげていくには、子どもたちが中学生になっても楽しめるか、小学生に教えられる内容か、をしっかりと考えて企画していくと

次第に子どもたちだけで盛りあがっていきけると思えますよ。」と一言。

今後の活動がとも楽しみな三島子ども文化ステーションです。



掲示板(8月～)

ひと山まるごとプレイパーク

8/9 (土)～10 (日)：ひと泊まるごとプレイパーク

9/13 (土)、10/19 (日)、11/16 (日)、12/14 (日)

大哉事業

8月 2日 (土)：ときわ台・東ときわ台夏まつり (豊能町ふれあい広場)

8月18日 (月)～20日 (水)：夏合宿 (国立曾爾少年自然の家)

8月31日 (日)：ごったに座オープニング<3分> (メープル大ホール)

9月 6日 (土)：吉川中学校区フェスティバル (吉川中学校)

9月19日 (金)：吉川中学校文化祭 (吉川中学校)

10月 5日 (日)：人ふれあいまつり (豊能町野間口)

11月 3日 (月・祝)：豊能町ヤングフェスティバル (ユーベルホール)

劇団「ぼこあぼこ」

第1回公演

— 銀河鉄道の夜 —

祭よ、今宵だけは哀しげに

8/30 (土)：午後2時開演

(午後1時30分開場)

池田市民文化会館小ホール

(無料)

「うげのもりとのものがたり」

(財)安藤スポーツ・食文化振興財団

「トム・ソーヤー企画コンテスト」入賞企画

★五感で自然を感じ、想像の世界へ旅立とう!

自分だけの“物語”作りにチャレンジ!

日程：9月20日 (土)～21 (日) (豊能町木代)

9月28日 (日)

(完成した“物語”発表・会場：池田)

対象：小学生30名

参加費：9000円

お問合せ先：NPO 法人北摂こども文化協会池田事務所

TEL 072-752-9910

FAX 072-752-8185

担当者：尾立 (おりゅう)

無料!

世界の子どもたちの安全と平和を願って

いけだ夢燈花2003

8/16～17 (土～日)：

池田市立水月公園内の3つのエリアに無数のろうそくの灯りをともし、世界中のこどもたちの健やかな成長を祈ります。

・16日 前夜祭「ほのあかりコンサート」

いけだハンドベルクラブ演奏

・17日 「一打一管」演奏

国際交流事業：「ルーマニア」との文化交流

ルーマニアの折り紙コンテストに入賞した子ども達(3名)、人形劇団員(大人)との文化交流、および人形劇公演など

★子ども3名、大人2名(夫婦)のホームステイ先、観光案内して下さる方募集中

10/6 (月)～10/10 (金)

子どもの権利条約フォーラム2003分科会企画発表

12/6・7(土・日)：アステ川西・川西小学校

(実行委員長：ひと山プロジェクト委員会上杉先生)

「ひと山まるごとプレイパーク」事業での青年の参画、青年の成長等の視点から分科会を企画、発表の予定



最新の情報はホームページでもチェックできます。

お問い合わせ・お申し込みなどは

豊能事務所=072-738-3435

池田事務所=072-752-9910

までお気軽にお電話下さい★

また「ハックルベリー」の感想もお寄せ下さい。



梅雨がようやく明けたと思つたらもう8月になりました。セミの大合唱をBGMに作りました。たくさんの人に読んでもらいたいです。(E)

編集後記